

令和元年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

大分県

行事名称	第66回 文化財防火デー 県指定史跡毛利空桑旧宅及び塾跡
実施期間・日時	令和2年1月24日(金) 10:00~11:00
実施場所	毛利空桑記念館(大分市鶴崎)
主催者	大分市教育委員会、大分東消防署

■実施内容

訓練の想定

原因不明の出火により、毛利空桑旧宅「天勝堂」西側付近で火災発生。北西からの風が強く、南西方向に風があり、「天勝堂」への延焼の恐れがあると想定。また、放水活動を行うのに必要な交通規制と、通行車両の交通誘導を想定。

訓練の内容

自動火災警報器の発報を受け、毛利空桑記念館職員による現場確認、火災発見、初期消火(消火器)、避難誘導、展示品搬出の訓練を実施。消防署及び消防団による放水訓練、市職員及び消防団による交通誘導を実施した。また、消防署職員による防災講話を行った。

参加者及び役割分担

毛利空桑記念館職員	(3名): 119番通報、初期消火、避難誘導
鶴崎文化研究会(NPO法人)	(17名): 展示品搬出
国宗自治会	(2名): 避難誘導
大分市消防団(鶴崎分団)	(7名): 放水訓練、交通誘導補助
大分市消防局東消防署	(11名): 全体統括、放水訓練、防災講話、消火器訓練
大分市教育委員会	(8名): 交通誘導、現場立会

特に工夫した点

通報者と初期消火及び避難誘導の担当を分けることで、複数人で緊急時の動きを確認。訓練後に防災講話を行い、訓練の意義や認識を深めることに繋がり、防災意識の向上を図った。

問題点・課題

地元自治会の参加が少ないことから、広報や周知を含め、参加しやすい日時等を検討。

その他

今後、文化財防火デーにあわせて、近隣の小学校や高校などと連携して消防訓練を実施することで、防災活動の連携を図るとともに、文化財愛護精神の高揚と保護意識の醸成を図る。

訓練風景



放水訓練



防災講話